

---

## 情報工学演習 II 森先生の課題

---

### 1 学問の自由と個人の権利の観点からの見解

まず 1 つ目の記事について、法律改正の前後に関わらず機械学習のために著作物を利用する行為がここまで認められていることを初めて知り驚いた。これが機械学習の法律上認められている学問の自由であると認識できた。そのうえで、学生の論文発表が炎上した件について、法律的に学問の自由が幅広く認められていることは嬉しいと思う一方で、著作権者への配慮が欠けているのではないかと思われる。学生は、自分の持つ権利の上で論文を作成した。他者によるさらなる研究を容易にするためにも使用した作品の出典を公開することは問題ない行為と言えるだろう。ゆえに学生は論文発表で炎上した内容で責められる筋合いはないと考える。一方で、著作者にとっては内輪で楽しんでいたコンテンツがいきなり大衆に晒された訳だから、論文発表に批判的になるのも合理的である。結局、どちらがどう悪いかを議論するのではなく、この炎上は学問の自由がもたらした事件であり、同じような事件を起こさない方法を考えるべきだと考える。法律上では、機械学習のために著作物を利用する際著作権者の利益を不当に害してはならないことになっている。しかし、1 つ目の記事のまとめにあるように、「著作権者の利益」は著作物の受領者が当該著作物によって満足することと引き換えに支払う対価の保障である。つまり、著作権者に対する個人の権利への侵害について制限する記述がない。私は今回起きた事件の一因はそこにあると考え、個人の権利を守る項を法律に加えるべきではないかと考える。